

正誤表

箇所	誤	正
REACHにおける化学物質安全性評価 (CSA) の要点 (日本語)		
複数箇所	DU	DU _s
P1 : 第2パラグラフ	Downstream User	Downstream Users
P1 : 第3パラグラフ	欧州に直接輸出していない者であっても、物質・調剤・成形品を、間接あるいは直接に欧州への輸出業者に提供している者にも、その情報提供が求められる場合があるからである。	また、欧州に直接輸出していない者であっても、物質・調剤・成形品を、間接あるいは直接に欧州への輸出業者に提供している者にも、その情報提供が求められる場合がある。
P6 : 最終行	リスクが適切にコントロール製造・用途の確認	リスクが適切にコントロールされる製造・用途の確認
P7 : 上から4行目	本文書ページ 37	本文書ページ 38
P8 : 上から3行目	以下に内容に関する	以下の内容に関する
P8 : 図 2-1	危険・有害性評価	危険有害性評価
P11 : トピック-2	(慢性影響を評価する場合、より試験(投与)期間が長いデータ	(慢性影響を評価する場合、より試験(投与)期間が長い)データ
P11 : トピック-2	試験であること、GLP基準に準拠した試験であること、試験結果のばらつきが少ないこと、等が信頼性の判断基準となる。また、トピック 5 に示す Klimisch コードが信頼性の判定量的な基準として用いられる場合が多い。	試験であること、GLP基準に準拠した試験であること、試験結果のばらつきが少ないこと等が信頼性の判断基準となる。また、トピック-6 に示す Klimisch コードが信頼性の半定量的な基準として用いられる場合が多い。
P13 : トピック-3	不確実性からアセスメント係数を選定	不確実性からアセスメント係数を選定
P13 : トピック-3	不確実性が低いと判断され	不確実性が大きいと判断され
P14 : 脚注 8	右の脚注 8 を追加	L(E)C ₅₀ :試験生物の 50%が影響を受ける濃度、または特に定義されたエンドポイント (例:藻類への成長速度の影響) に 50%の影響が測定された濃度。
P16 : トピック-6、2行目	危険・有害性	危険有害性
P16 : トピック-6 : 7行目	スコア 3 またはスコア 4 と判断されたデータの場合、使用できないか	スコア 3 またはスコア 4 と判断されたデータの場合、 <u>リスク評価に直接</u> 使用できないか
P25 : 下から3行目	選択されたカテゴリ、5.13 に示す第一段階のばく露量推定ツール	選択されたカテゴリは、5.13 に示す第一段階のばく露量推定ツール
P29 : 上から2行目	物質を含む調剤に直接手を入れる	物質を含む調剤(溶液)に直接手を入れる
P29 : 上から3行目	衣類に移動する際に	衣類から皮膚に移動する際に
P34 : 下から12行目	専門家の判断の <u>重</u> 重要性	専門家の判断の重要性
Key Points for Chemical Safety Assessment in REACH (英文)		
複数箇所	DU	DU _s
P7 : 上から7行目	(See Chapter 8: Safety Data Sheet, p37,	(See Chapter 8: Safety Data Sheet, p39,
P8 : Figure 2-1	R.10: Characterisation of dose-response <u>for</u> environment	R.10: Characterisation of dose-response <u>for</u> environment
P8 : Figure 2-1	R.16: Environmental ₂ exposure estimation	R.16: Environmental ₁ exposure estimation
p11 : Topic-2 下から6行目	described in Topic 5, is often used	described in Topic-6, is often used
P17 : Topic-6 上から6行目	it is either not used or handled as reference data.	it is either not used <u>directly</u> for risk assessment purposes